

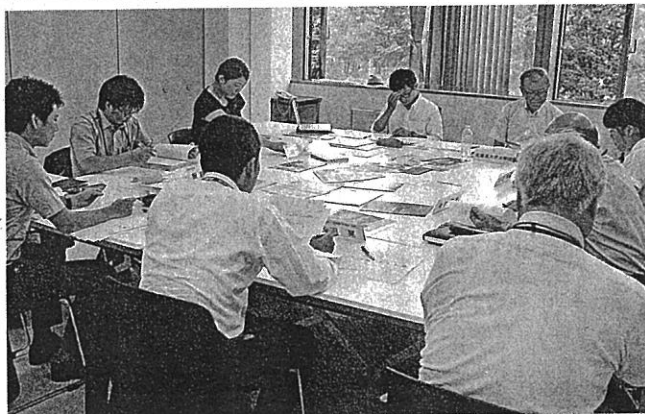
市民会館・文化会館の利用者

「マイカーで」9割

苫小牧市 ホール建設へ調査

苫小牧市が市民ホール(仮称)の建設にあたって、市内の文化団体に実施したアンケートで、市民会館(旭町2)と文化会館(旭町2)の利用者の約9割が、自家用車で施設を訪れていることが分かった。市民ホールの立地は、駐車場の整備など車によるアクセスが重要な要素となりそうだ。16日に開かれた市民ホー

ル建設検討委員会の作業部会で市が報告した。アンケートは、市文化団体協議会に2015年度時点で在籍した167団体と文化会館の利用者など約200団体を対象に実施し、約6割の125団体が回答した。市内で最も利用する施設については、82団体が文化会館、24団体が市民会館とそれぞれ回答した。うち自



家用車で施設を利用する割合は文化会館が93%、市民会館が92%だった。

文化団体へのアンケートの結果などが話された作業部会

文化会館は25台、市民会館は192台がそれぞれ駐車できるが、アンケートの自由記述では「文化会館の駐車場が常に不足している」などの意見が出た。

今回の結果は、市民ホール建設に向けた基本計画の策定に反映する。

(若松樹)

駐車場不足が問題に 市民ホール建設検討のWG

苦小牧市



他都市の文化施設のパンフレットなども参考にし、意見を交わした「活動」のワーキンググループのメンバーら

苦小牧市は16日、市民会館の建て替えに伴う、市民ホールの建設検討委員会の「活動」分野のワーキンググループ(WG)を市役所で開いた。複合化を検討中の文化会館と市民会館両施設の主な利用者対象のアンケート中間報告で、市側が各施設に自家用車で訪れる場合が全体の9割を

超えたことなどを示した。アンケートは、今年6月に文化団体協議会の会員や文化会館、市民会館両施設の利用者に直接用紙を配布し、125団体から回答を得た。施設までの交通手段で両施設とも自家用車利用が90%を超え、自由記述で「常に駐車場が不足している」などと書

き込まれ、駐車場の問題が改めて浮き彫りになった。

また、利用する理由から、両施設とも利用に適した広さとの回答が6割近くに上り、スタッフの対応の良さも評価されていることが分かった。

WGではこの他、委員から「どんな活動でもサポートをするのが大事。何でも使えると知ってもらえれば、人が集まるのではないか」などの意見が出て、マネジメント機能の重要性を改めて強調。市教育委員会が今年3月に策定した第2次苦小牧市民文化芸術振興推進計画(2016～25年度)を各委員に配布し、参考にすることも確認された。